

建築学科の学生が建築学科を語る part1

釧路高専 5 年建築学科 田宮 章子

(清水町立御影中学校出身 豊橋技術科学大学進学予定)

建築学科の志望動機は？

子供の頃、建物を建てている現場を見て面白そうだなと思った記憶があります。それが建築に興味を持ったきっかけだったかもしれません。中学校に入る頃には将来は建築関係に行きたいと思っていました。なので、受験のときも帯広工業と釧路高専の建築学科を考えていて、学力的に高専も狙えるかなと思って高専に決めました。

(高専からどの学科を選ぶ？のではなく、「最初から建築」、建築学科にはそんな学生が多いです)

高専に入ってから印象は？

低学年のころは思ったより一般教科が多くてもっと建築の専門教科がやりたいなと思いました。でも、一般教科もそれなりに大変で、2年生のときの数学、あれ以上に大変なものはなかったですね(苦笑)。レポート提出がたくさんあって鍛えられました。でもあそこで鍛えられたからこそ数学が出来るようになった気がします。

(高専の低学年数学は週時間+補習、鍛えられます)



後ろのポスターは有名建築家ミース

低学年のときの専門教科って？

低学年の専門教科は本当に何

も知らない人も基礎から学べます。例えば製図なんかは線の引き方から始まって、図面のトレース(すでに完成した図面を見ながら同じ図面を描くこと、図面の複製を描くこと。)があつて2年生になって初めて自分で設計をしました。住宅の設計で大変でした、向いてないと思いました(笑)。

構造力学は授業を理解するのが大変だったけど、理解出来るとだんだん楽しくなりました。

(1、2 年では他にも建築概論、コンピュータリテラシー、インテリア概論などを低学年で学びます。)



建築でも PC は必需品

専門教科で一番好きなのは？

もともと建築の他に福祉系のことに興味がありました。そのきっかけは、いつのことか忘れてしまったのですが、バリアフリーの考え方、建物等を見聞したときに感銘を受けたことだと思います。それは自分の中で大きなことでした。建築で福祉関係という計画・設計という印象で自分の得意分野ではないなと思うこともありますが、福祉系のことをやっていきたいというのは自分の中でぶれないですね。

それからもともと数学や理科が好きだったので環境工学のように数字で分析できる教科は思



ったより楽しめました。

(建築で福祉関係は建物のプランを考えたりする「建築計画」の視点で数多くの研究がされています。他にも建物と人に関わる音、光、熱、空気を分析する環境工学、設備なども密接に関係します。)

進学すると決めたのはいつ？

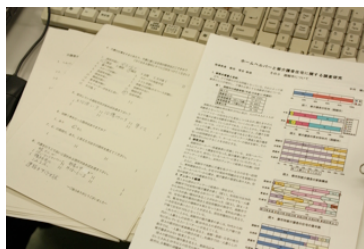
入学当初から、進学も視野に入れていました。いろいろな勉強をしていくうちに、やはり福祉を専門に勉強する機会が足りないと思い、もう少し勉強したいと思いました。2、3年になると高学年でどのような勉強をするのかが分かって来たのでその頃にはもう決めていたと思います。

豊橋技術科学大学に決めたのは自分の学力を考えてここかな、ということで決めました。

(建築学科は技科大の他に室蘭工業大学、専攻科等が主な進学先です。進学者の割合は卒業生の約 3 割程度です。)



田宮さんの研究室



大切な研究資料

卒研の研究テーマは？

「ホームヘルパーと被介護者に関する研究」をテーマに選びました。今までこのような建築計画の福祉関係では被介護者（介護を受ける人）側にとってどのような住環境が使いやすいか？という研究はたくさん行われて来たのですが、この研究は介護をする人（ホームヘルパーさん側）の立場からどのような建物が介護しやすいか？ということを調査して

います。今、アンケート調査を集計中で、夏休中に実際にホームヘルパーさんが働いている住宅の調査にも行きます。

卒研は自分の好きなことをできるので楽しいです。

（卒業研究は5年間の集大成、自分で研究テーマを決め、様々な研究が行われています）

建築の面白さとは？

これまでに、いろいろなことを勉強したけれど、それが何だかんだと色々な繋がり方をしているところが建築は面白いと思います。

ひとつの住宅を建てることを考えるとしても、構造があったり計画があったり、環境、設備あったり、全然違う分野のこともが全

部繋がって来ます。そういうことがトータルして出来上がっていくことがやはり面白いです。

将来の夢は？

人の役に立てることに携わっていきたいです。具体的にどんな仕事に就くかはまだ分からないけど、こういった形でも福祉関係の話はあると思うので、その点から社会に関わっていけたらと思います。



建築学科の学生が建築学科を語る part2

釧路高専 5 年建築学科 関 小百合 （釧路町立別保中学校出身 INAX（株）就職予定）

高専の志望動機は？

父が大工なので、子どもの頃から建築が身近な存在で自然と興味を持つようになりました。

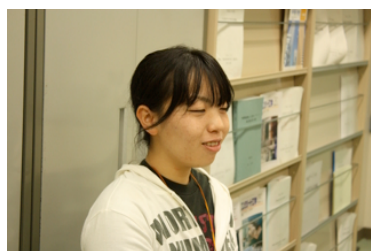
経済的な理由から大学に行くのは難しいと考えていたのと、中学生のときに高専の体験入学に参加して「ここで勉強できたらいい

いな」と思ったのが、高専を選んだきっかけです。

建築学科の印象は？

入学前は、専門的なことばかりやっていて頭がいい人ばかりいるのかな？というのが印象でしたが、入ってみたら自由な感じの校風で友達とも楽しく過ごせて、思ったよりは苦労しなかったです（笑）。

でも、勉強はやっぱりちょっと苦労してます（大笑）。勉強の方も「自由にやれ」って感じなんで自分でしっかりやらないと駄目ですね。



関さんの研究室 1



部活のことを聞かせてください。

小学校3年生のときからバレーボールをやっていて、高専に入ってから女子バレーボール部に入って活動しています。高専には女子の運動系の部活はあまり盛んではないのですが、やはりバレーボールは続けたいと思って入りました。

今年はこの5年の中で一番充実した部活になっています。もうすぐ大会なので忙しいです。

一番好きな勉強は？

中学校のころから国語が一番好きで、今でも文章に関係する学問が好きです。建築の中では建築史がとても好きでした。

(建築史は建物の歴史とその時代の背景、文化を学ぶ学問。限りなく数学から遠い学問。建築学は他学科とちがいで工学だけではなく芸術面も要求される分野なので、文学歴史は非常に重要。)

高専生なのに国語がスキと言いつけるのもめずらしいですね。

面接のときに「数学が嫌いです」と面接官の先生に言って大笑いされました。

(建築学科は高専の中では比較的、数学物理系の単位は少ないです。が、数学もかなりの時間勉強します。好きに越したことはありません。)



関さんの研究2 (実験室)

今、建築で興味のある分野は？

建築史も大好きなんですけど、好きなことは趣味にしておき(笑)…。就職先が材料や設備、建材等の会社なので、今のうちにその辺り(材料)をしっかり勉強しておこうと思っています。

卒業研究のテーマは？

卒業研究では寒冷地における外壁サイディングの性能評価を



様々な試験体

やっています。このテーマを選んだのは、就職先が材料を扱う企業というのもあるのですが、凍結融解試験はこの地域だからこそできる研究なので、そこも魅力でした。

今、実験もスタートしデータをどんどん採取している所です。サンプル数が今年が多い上に、他の実験も一緒にやるので結構時間がかかります。

(凍結融解試験とは建築材料(コンクリートやタイルなど)を凍らせたり溶かしたりしてどのくらい、その材料が寒さに強いかを調べる実験。大きな実験機器と特別なお部屋が必要。)



これが凍結融解試験装置

就職先を決めたポイントは？

女子は就職が厳しいと聞いていたので、仕事や就職についてネットで情報収集をしていました。そこで見つけたのがINAXで、女性も男性と変わらない職場環境が整えられているというのを知って、そこがポイントのひとつでしたね。

INAXに合格したら先生たち、や周りの皆さんに奇跡のようだと言われました(大笑)。

(INAX→トイレやタイルでおなじみ

ですが、一流住宅設備機器メーカーです。釧路高専からINAXに入社した人は過去4〜5人、ハードルが高い企業です。)

建築の面白さ楽しさって？

小さい頃ってみんな道路にチョークで絵を描いたりしたと思うのですが、私の場合その絵が部屋だったんです。いろいろ部屋を描いてそこでおまごごとをしたりしていました。

小さい子どもで、もちろん専門知識がなくても、そうやって部屋を描いてしまうくらい住宅は身近なものだと思うのですよね。そういった自分の考えた物が実際の形になるというのが建築の楽しいところだと思います。

将来の夢

まず、社会に出て就職してからは他の人に迷惑をかけないようにしたいと思います(笑)。

それと、INAXの製品で一番すごいなと思ったのは「自動水洗」なんです。そこで使われている電力は自家発電とバッテリーでとても省エネルギー設計です。エコってよく叫ばれているけど、具体的にはどうしたらいいのかわからなかった。でも、この自動水洗のことを知った時いざ自分にはしっくり来たんですね。これから環境問題がますます重要になると思うので、そういったことに関わる開発に貢献したいです。

